

令和5年度 保護者アンケート (12月実施)

回答データ 197人/495人 (37.8%)

城東小学校

評価項目	A よくあてはまる	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない
1 子どもは、進んであいさつをしている。	28	50	19	3
2 子どもは、学校へ行くのが「楽しい」と言っている。	53	38	9	1
3 子どもは、「授業がわかりやすい」と言っている。	38	52	9	1
4 子どもは、「です」「ます」等のていねいな言葉遣いをしている。	12	49	31	7
5 子どもは、徒歩登校(てくてく登校)をしている。	84	11	2	4
6 学校は、学習のきまり(聞く態度・姿勢・学習用具の準備)の指導を行っている。	56	39	4	1
7 学校は、校内の様子や学習状況等についてお知らせしている。(公文・スクリーン・HP等)	60	38	1	1
8 学校は、子どものことについて、適切に相談に応じている。	52	45	3	1
9 学校は、子どもの努力を認め、よいことをほめている。	58	39	2	1
10 学校は、子どもの発表の場や活躍の場を積極的につくっている。	57	40	3	1
11 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	41	53	5	2
12 学校は、事故防止等の安全対策を行っている。	50	47	3	0
13 学校は、学習環境(施設・設備・花と緑等)が整っている。	58	39	2	1
14 家庭では、子どもの将来の「夢」や「進路」等について話している。	30	47	19	4
15 家庭では、望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着を行っている。	40	53	7	1
16 家庭では、家庭学習の時間を設定し、学習のチェック(サイン等)をしている。	44	37	17	3
17 学校は、小中一貫教育の取り組みや活動の様子について伝えている。	37	45	15	4
18 PTA活動には、進んで参加している。	9	37	30	23

〈考察〉 ※ 四捨五入しての数値のため、合計100%にならない項目あり

○ 2・3・5～13・15は、AB判定(肯定的な回答)合計が90%を超えている。

○ 最も良い判定を出しているのは、7「情報発信」で、AB判定の合計が98%と最も高い。また、8「相談に応じる」と9「努力の承認と称賛」・10「発表や活躍の場づくり」・12「安全対策」・13「学習環境」も97%と高い。

→ 公文発送の他、スクリーン、HPでの情報発信や学校の取り組み等に対して、保護者から認められている。

● CD判定(否定的な回答)で最も高いのは、18「PTA活動への参加」で、AB判定を合わせても46%と過半数に満たない。

→ 過去3年間に渡るコロナ禍の影響もあり、PTA活動の中止や簡素化等による低迷が影響している。より有効なPTA活動への取り組み方法を模索する必要がある。

● 18以外にCD判定の合計で30%以上になっているのは、4「ていねいな言葉遣い」である。

→ 学校だけでなく、家庭や地域等においても、ていねいな言葉遣いについて意識づけていかなければならない。

